
赤 潮 情 報

八代海赤潮情報No.7

天草市調査では、御所浦町烏帽子沖でシャベラ アンティカを最大11cells/ml確認しました。競合する珪藻類は多い状況です。

※なお、ヘトカブササキユリスカマを、八代海南部で1~6cells/ml確認（上天草市松島町で最大925cells/ml確認）。

※各調査点の細胞数は下図を参照

熊本県は、9月1日付けで有明海に、2日付けで八代海に、シャトネラ属についての赤潮警報を発令していますが、本日の調査でも、シャトネラ アンティーカが最大14 cells/ml確認されています。競合する珪藻類については、天草市の調査海域では多い状況との結果でしたが、熊本県の調査海域では少ないとの評価でした。

1日の当センターによる調査では、珪藻類はやや多い状況、水質をみると、塩分は32.3～32.8で平年同時期よりやや高め、栄養塩のうち無機態窒素(DIN)は $0.6 \mu\text{g-at/l}$ と平年値(1.4)より低いものの、無機態リンは $0.11 \mu\text{g-at/l}$ と平年値(0.06)より高い状況です。

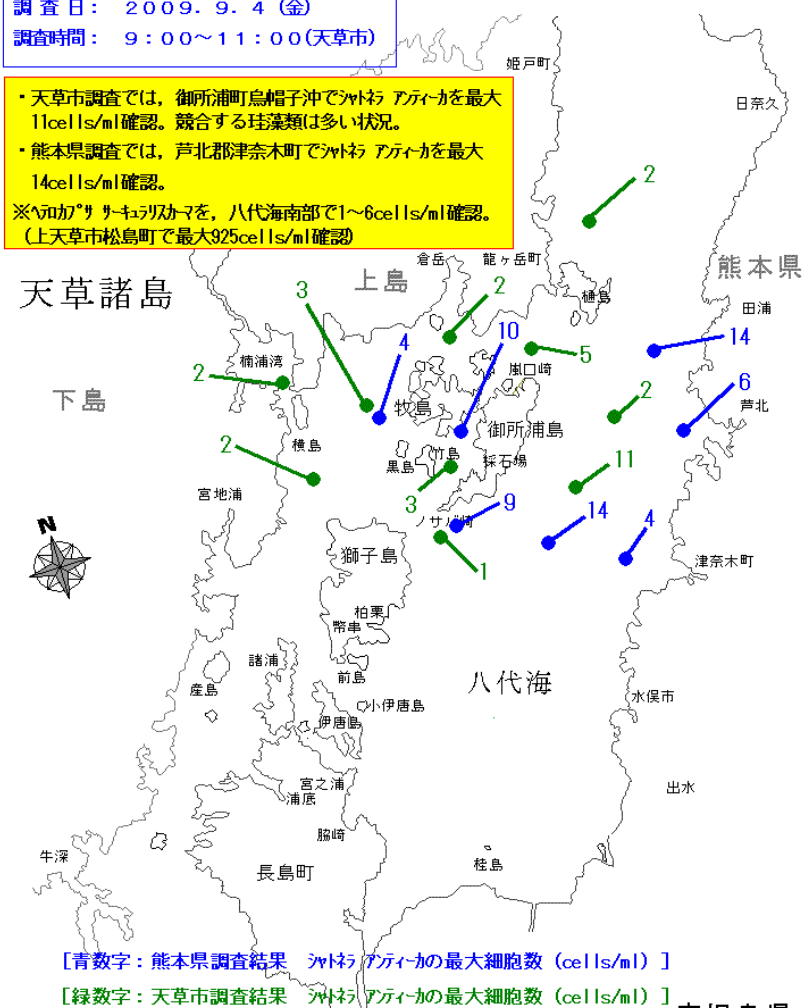
本日の熊本県の調査結果や、1日の当センターの調査結果をみると、今後も楽観できず、海況、天候次第では、シャトネラ アンティエラが再度増殖する可能性もありますので、十分な注意が必要です。今後とも、魚の状態に十分注意するとともに、定期的な検鏡等により有害プランクトンの監視を行って下さい。

なお、長崎県の諫早湾では、8月14日に終息したシャトネラ アンティーカが本日、再度増殖した（最大914cells/mlで一部着色）との報告もあります。

調査日： 2009. 9. 4 (金)
調査時間： 9:00～11:00(天草市)

- ・天草市調査では、御所浦町烏帽子沖でヤマトアテナカを最大11cells/ml確認。競合する珪藻類は多い状況。
- ・熊本県調査では、芦北郡津奈木町でヤマトアテナカを最大14cells/ml確認。

※ヘカカサリーキュリスカマを、八代海南部で1~6cells/ml確認。
(上天草市松島町で最大925cells/ml確認)



鹿児島県

赤潮図鑑 (ハソソ 用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>